

第3回 革新的特色研究シンポジウム

本年度から新たに徳島大学を代表する**革新的特色研究プロジェクト**が研究戦略本部で指定され、今回、第3回として「分子イメージング手法を導入した免疫疾患克服の革新的研究」と題した革新的特色研究シンポジウムを開催します。徳島大学に所属する多くの教員、研究員、大学院生、学生の皆さん方が奮ってご参加下さることを期待しています。

なお、本シンポジウムはHBS各教育部の**大学院特別講義**を兼ねています。

日時：平成22年11月17日(水)

14:00~17:30

会場：医学部第一会議室

分子イメージング手法を導入した免疫疾患克服の革新的研究

14:00 挨拶：研究担当理事・副学長 福井萬壽夫 座長(前半)：HBS研究部長 林 良夫

14:05 本研究プロジェクトの概要 林 良夫

14:15-14:45 「自己免疫疾患の病因解析:シェーグレン症候群、1型糖尿病、
関節リウマチを中心に」 HBS研究部口腔分子病態学分野 林 良夫

14:45-15:15 「胸腺における「自己」の重層的な配置とそれによるT細胞のレパトア形成」
疾患ゲノム研究センター-生命システム形成分野 高浜洋介

15:15-15:45 「Notchシグナルによる免疫制御」 HBS研究部生体防御医学分野 安友康二

--- Break ---

座長(後半)：ゲノム研究センター長 高浜洋介

16:00-16:30 「胸腺上皮細胞で発現するAIREを切り口とした自己免疫疾患の原因究明」
疾患酵素学研究所-免疫病態研究部門 松本 満

16:30-17:00 「免疫補助分子の機能解析による新規免疫制御剤の開発」
疾患ゲノム研究センター-ゲノム機能分野 岡崎 拓

17:00-17:30 「遺伝情報保持システムと免疫システムのクロストーク」
HBS研究部臨床薬物生化学分野 山崎哲男

備考) **革新的特色研究プロジェクト**は、徳島大学が、世界的に卓越した特色研究拠点および徳島大学の強みを活かして課題解決ができる特色研究拠点の形成に向けて戦略的に取り組むものです。研究戦略本部で、医工連携、農工食連携を念頭に置いて、次の4プロジェクトを指定しました。革新的特色研究プロジェクトのシンポジウムに多くの教員、研究員、大学院生、学生の皆さん方に参加して頂き、熱い討論をして頂くことを期待しています。

1. 糖尿病による循環器疾患克服の革新的特色研究 (2010年7月21日シンポ開催)
2. LEDによるライフサイエンス・イノベーション (2010年9月21日シンポ開催)
3. 分子イメージング手法を導入した免疫疾患克服 (2010年11月17日シンポ開催予定)
4. 抗老化のための栄養科学と骨疾患克服 (2011年1月シンポ開催予定)

主催：徳島大学 研究戦略本部

お問合せ：産学連携研究推進第一係(4862)、第二係(9418)、第一総務係(2104)